

感動・創造都市

～人が輝き 自然が輝き まちの個性が輝く理想郷～

広報



とわだ 8

No. 154

2015



目次

特集 地域でつながる『おいしい十和田』

十和田産品 1×2×3

6次産業化への挑戦 …… 2

B-1 グランプリ in 十和田情報 …… 9

“十和田に感謝給食2015” スタート (南小学校)

市立南小学校(馬場泰裕校長)を皮切りに、市内各小・中学校で平成27年度の十和田市産食材を使ったバイキング給食が行われています。

支援の主な内容は、主に、専門家からの助言と費用に對行っています。

こうした中、市は、1次産品の加工による高付加価値化や、食の提供を含めた販売拡大に取り組み事業に支援を行っています。

戦前からめん羊の飼育が大規模に行われていたこの地域で、羊肉をおいしく食べるため、地元産のニンニクや玉ねぎなどを使って作られたのが始まりで、市の食品加工産業の草分け的存在です。

KNKに続けとばかり近年、地元産の農産物を活用した加工開発に取り組み個人や事業者が増え始めています。

余りがたちました。

今や全国的ヒット商品となった上北農産加工農業協同組合（KNK）の「スタミナ源たれ」は、開発されて50年

意欲で磨かれる とわだ産品

する助成の二つがあります。

一つは、新商品開発や既存商品の改良において、パッケージ、ラベルデザインなど、専門的なアドバイス。もう一つは、販売促進活動や加工、製造のための施設整備、機械導入費への補助金交付です。

事業を活用した事業者の意欲的な取り組みにより、農産物が磨かれ、新たなとわだ産品が続々と誕生しています。

6次産業化と市の支援

生産（1次産業）×食品加工（2次産業）×流通・販売（3次産業）＝6次産業化。

農林漁業者が自分たちの生産物の価値を高め、地域経済を活性化しようという取り組みです。市は、セミナーやシンポジウムの開催による人材の掘り起こしのほか、6次産業化に取り組む事業者への個別指導など地域の6次産業化を推進する支援事業を平成25年度から実施しています。

この支援により、2事業者が、国の6次産業化法に基づく総合化事業計画に認定され、事業拡大が期待されています。



地域で育む産品の誇り

小さな頃から地元の生産物を知り、誇りを持つことは大事なことです。

市内小・中学校の「バイキング給食」、保育園・幼稚園の「とわだ育ち地産地消給食の日」に、市が食材を提供して行うことにより、その良さについて理解を深めています。

魅力の発信

「おいしい十和田キッズムリエ講座」により養成された子供らが、道の駅とわだ「とわだびあ」などで、自分たちが考案したレシピの配布や試食などを行い、十和田産野菜の魅力を発信します。

市立南小学校（馬場泰裕校長）では、昨年度から、修学旅行の際に函館駅で十和田産品のPRを行っています。

米粉普及事業

当市は、県内でも有数の米の産地ですが、全国的に米の消費量が落ちている中、主食以外の新しい活用方法とし

十和田市の農業は、奥入瀬川や人工河川・稲生川の豊かな水に支えられ、稲作を中心に市の基幹産業として発展してきました。現在では、米や畑作物、畜産物と豊かでバランスのとれた生産構造となっています。

この豊富な1次産品を活用し、加工や製造、食の提供などで十和田産品が生きる取り組みが活発になっています。

「食材の宝庫」十和田市

十和田市は、生産量日本一を誇るニンニクをはじめ、ナガイモ、ゴボウ、ネギなど、野菜の大産地。しかもおしさは、食材のプロも認める確かなものです。

その鍵は、全国に先駆けて取り組んだ「健康な土づくりにあります。土壌診断や適正な施肥などによる野菜作りが、高品質な十和田産食材を作り上げています。

野菜ソムリエの知久幸子さんは「十和田の野菜は、アクがなく、みずみずしく甘い。ゴボウを生で食べられるなんて、想像もしませんでした」と絶賛しています。

野菜に加えて、「奥入瀬ガリーリックポーク」や「十和田湖和牛」の畜産物、貴重な水産資源「十和田湖ひめます」など、十和田市はまさに「食材の宝庫」です。

東京「センチュリーコート丸の内レストラン・ロゼット」の総料理長、鏡智行シェフは、平成24年の「鏡智行シェフ十和田を料理する」がきっかけで、十和田産食材を使ったメニューを提供しています。鏡シェフは「十和田市には、非常にクオリティの高い食材が揃っています。生産者の皆さんの情熱を感じます。とわだ産品は、全国どのレストランでも通用する品質です」と、高く評価しています。

美しい水と大地、そして、生産者のこだわりと愛情に育まれた当市の1次産品は、全国に誇る十和田ブランドとして認められつつあります。

生産者はその誇りを胸に、他の産地に負けないより良い生産物を目指して、たゆまぬ努力を積み重ねています。

「米粉」が注目されています。市では、「米粉」の普及を図るため「とわだ米粉ROADプロジェクト」と称して、米粉の利用拡大に向けたサンプル提供や活用方法のPRなどを行っています。



▲とわだ育ち地産地消給食の日（小さな森保育園）



▲市産食材のバイキング給食（北園小学校）



▲米粉を使ったメニューをPRする米粉サポーター



▲南小学校6年生による修学旅行の市産品PR活動（函館駅）



▲キャンペーンを行うキッズソムリエ（道の駅とわだ「とわだびあ」）

とわだ産品座談会 1×2×3 Discussion

～とわだ産品のポテンシャルを探る～

料理人代表
「フラスリーMASUDA」シェフ
増田 保稔さん

販売者代表
道の駅とわだ「とわだびあ」駅長
竹ヶ原 康輝さん

加工業者代表
「ガーデンキッチン垂穂」オーナー
小野 美保さん

生産者代表
水尻 美喜穂さん



とわだ産品の魅力

水尻 専業農家になって10年程になります。消費者が喜ぶおいしい野菜作りを心掛け、土づくりにこだわって栽培しています。農業体験の子どもたちに採れたての野菜を食べさせると「おいしい！」と感動していますよ。

小野 市外のシェフから、十和田の食材は質が良いという話をよく聞きます。生まれ育った土地で当たり前に食べていた食材の良さを、この仕事を改めて気づきました。
竹ヶ原 こんなにおいしい野菜が手頃な価格で新鮮な状態で買えるというありがたみを一番分かっていないのは実は市民なのかも知れません。私もそうでしたから。この十和田の食材のポテンシャルの高さをアピールするには、道の駅が核になると思っています。どれだけお客様に素材の良さを伝えていけるか。十和田産というだけで買ってもらえるくらいにしたいですね。さらに新しい品種や商品に取り組んでいけば、ファンももっと増えると考えています。
増田 十和田野菜に惚れ込ん

で、この十和田市でフランス料理店を始めて14年になります。十和田野菜には、甘く、ミネラルが豊富で力強い素材がたくさんあります。最近、十和田湖ひめますに惚れ込んで、3枚おろしにして、黒ニンニク、ナガイモと重ねてミルフィーユ仕立てにしたメニューが県外のお客様から好評です。

地域のひととの交流

水尻 平成24年に「ハピたのかふえ」で行われた「お医者さんと話そう」に参加したのがきっかけで、加工に使う野菜を卸すことになりました。こういった他産業からのニーズがあるのはとてもうれしいですね。



小野 私は整体師でもありません。「体8割、外2割」と言っていますが、外からどんなにいい施術をしても、口か

とわだ産品が輝くとき

意欲ある加工により磨かれたとわだ産品は、市内道の駅やスーパーをはじめ県内外に広がります。

市では、一昨年から、千葉県柏市にある高島屋柏店でのフェアを開催してとわだ産品の魅力を発信しています。野菜や肉などの1次産品はもとより、加工品に対してもお客様の関心は高く、売上げも文字通り右肩上がり。

「昨日買った野菜がとてもおいしかったので、また買いに来ました」、「十和田湖や奥入瀬溪流はよく知っていたけど、おいしいものもたくさんあって、十和田市って魅力的なまちなんですな」など、大好評です。

とわだ産品は、料理の世界でも本領を発揮します。シェフらによって魔法をかけられた十和田市の食材は、より魅力的に生まれ変わり、味わう人々を魅了します。お客様が喜ぶ、その瞬間がとわだ産品が輝くときであり、また、生産者や事業者が輝くときにほかなりません。

地域産業の活性化に向けて

1次産業、2次産業、3次産業の取り組みが新たな価値を創造する6次産業化。理想的な取り組みですが、一生産者が加工・流通・販売までを完結させるのは容易なことではありません。

そこで、1次、2次、3次それぞれのステージで活躍している人々が、お互いの強みを生かしながら、6次産業化に取り組みもうという考え方が広がっています。いわゆる、地域内連携による6次産業化です。

より良い農畜産物をつくる生産者、技術によってさらに食材の価値を高める加工業者、そして、それらをお客様に届け、笑顔にさせる販売者や料理人。一人一人が、地域の大切なパートナーであり「チーム十和田」の一員です。力を結集することにより、地域経済の活性化が実現できるのです。

巻頭特集

「十和田産品1×2×3」

おわり



十和田産食材を生かすために

小野 市内に加工の場や設備があればいいと思います。難しくければ、一カ所に集約しなくても、例えば、匠工房には個包装する機械がある、水尻さんのところには野菜をカットする機械があるなど、それぞれの事業者さんが、市内の設備をまわって歩けばいいと思うんです。市内でそう



いう仕組みができれば、地域内でも経済が流れるし、十和田市は大きく変わると思っています。

増田 当店では、生産者のお名前をお知らせしています。お客様も納得して食べ、喜んでいただいています。でも、十和田産の食材を「おいしい」と言って食べるだけでは地域内で終わってしまいます。最近、インターネットを活用して全国へ発信することを始めました。すると、県外の方が予約するときに「この野菜を使っていますか？この料理はできますか？」などと尋ねられるようになり、大きな変化を感じています。十和田湖とヒメマスに感動して来店する観光客もいるので、もっと十和田湖とヒメマスを市民が大事に扱ってほしいと思っています。
小野 十和田市はこんなにおいしいものがたくさんあるの



水尻 話し合いだけで終わらないでそこから動きに発展し

に実はPRが下手なんですよね。みんながその価値観に気が付いて伝えていくことが必要だと思っています。そして、何をやるにしても、それまでの経緯も大事だけど、結果が出せるようにならないと信頼度は上がらないと思います。これは自分自身に言い聞かせているところでもあるんですけど、「十和田の食材を使っ」てここまで結果を出せました。って伝えるようにならないと次にはつながらないと思っています。
竹ヶ原 1次、2次、3次産業のみなが同じ方向を向いて頑張る必要がありますね。十和田市が一つの方向を向いて活動していくことが大事です。こういう会合もテーマを統一して、ステップアップできる交流の場になるといいですよ。



これから私がすること・できること



ないとながらないですからね。動き出すことは大事ですよ。
増田 地域の皆さんの思いやアイデア、技術を結集できれば、もっと十和田市は力強くなりますね。

竹ヶ原 「とわだびあ」に『特設十和田産品コーナー』を設置します。

増田 十和田産食材を使った料理を継続して、お客様を飽きさせないようなメニューの開発に取り組みます。

水尻 今まで通り、土にこだわった栽培をしながら、他産業からニーズが高まるような生産をしていきます。

小野 結果を出して、効果のあった取り組みや経験を情報共有して、地域を底上げしていきます。

新庁舎建設に向けた取り組みを進めています。

閩管財課管財係 ☎ 6707

新庁舎整備市民会議を開催

5月21日、6月21日、7月10日の3回にわたって、新庁舎整備市民会議が開催されました。これは、市民の意見を新庁舎建設の基本構想や基本計画に生かすもので、市民委員は各種団体の代表者と一般公募により選ばれたかたの合わせて13人です。

委員の皆さんは、毎回示されたテーマについて、市からの説明に質問しながら、活発に意見交換を行いました。

市では、様々なかたの意見に耳を傾けながら、平成27年度中の基本設計の完了を目指します。

市民会議はこれからも開催され、意見書をまとめ、市長へ提出します。

6月に実施した市民アンケートの結果は、ホームページに掲載しています。



千和田市長から委員のかたがたへ委嘱状が交付されました。

会議の様子

活発な意見交換が行われました。

◆新庁舎建設に関する市民説明会を開催します
 とき 8月6日(木) 午後6時～
 ところ 市民交流プラザ

会議テーマ

- 第1回 市民会議の役割、これまでの経緯
- 第2回 市民アンケートの結果、新庁舎に必要な機能や建設位置
- 第3回 新館の活用方法、新庁舎に導入する機能

平成27年国勢調査

～9月上旬から国勢調査員が市内全世帯を訪問します～

閩政策財政課定住自立圏推進係 ☎ 6711

国勢調査は、日本国内に住む全ての人と世帯を対象とする国の最も重要な統計調査です。調査結果は、国や地方公共団体のさまざまな行政施策の基礎資料、民間における経済活動、学術・研究などに広く活用されます。

今回の調査から、パソコンやスマートフォンを使用してインターネット回答ができます。

●調査内容

①世帯員について（13項目）
 氏名、男女の別、世帯主との続き柄、出生の年月、配偶者の有無、国籍など

②世帯について（4項目）
 世帯の種類、世帯員の数、住居の種類、住宅の建て方

国勢調査を装った「かたり調査」にご注意を！

国勢調査員は、「国勢調査員証」や「腕章」を身につけています。国勢調査員を装った不審な訪問者などには、くれぐれもご注意ください。

●調査の流れ

(調査員) 9月上旬にインターネット回答用ID・パスワードを全世帯に配布

(世帯) 9月20日までにパソコンやスマートフォンでインターネット回答

回答完了

インターネット回答なし

(調査員) 9月下旬に紙の調査票を配布

(世帯) 10月7日頃までに紙の調査票を調査員に提出または郵送提出

回答完了

9月上旬に調査員がインターネット回答用の書類を配布します。

その後、インターネット回答の無かった世帯へ、調査員が紙の調査票を配布します。

紙の調査票を配布された世帯は、調査員への提出または郵送のいずれかの方法で10月7日頃までに調査票を提出します。



『第20回とわだ駒街道マラソン大会』 ランナー・ボランティアスタッフ募集



第20回とわだ駒街道マラソン大会

とき 10月11日(日) 開会式 午前8時30分
ところ 市陸上競技場 (開会式、閉会式、お楽しみ抽選会)

■ランナー募集 (先着 3,000 人) 参加賞 (オリジナルTシャツ他) あり

種目	対象	参加料	制限時間
2 km	小学生	1,000円	なし
2 kmジョギング	年齢制限なし	18歳以下1,000円	30分
3 km	中学生以上	19歳以上2,000円	なし
5 km	中学生以上		なし
10km	中学生以上	2,500円	なし
ハーフマラソン	高校生以上	3,500円	180分、途中関門有り

申込期限 9月4日(金)

申し込み方法

①インターネット、携帯サイト

ランネット



スポーツエントリー



②電話 0570-550-846 (スポーツエントリー)

③パンフレット付属の払込取扱票による郵便振替

(パンフレットは、市役所本館1階、十和田湖支所、市総合体育センターにあります)

■ボランティアスタッフ募集

対象 高校生以上

内容 大会当日の参加者受け付け、参加賞の配布やコース上の交通整理など (午前7時~午後2時)
※詳細は9月下旬までに郵送で通知します。

申込期限 9月4日(金)

申し込み方法

電話かFAXで氏名、住所、電話番号、Tシャツのサイズ (SS・S・M・L・LLの中から) をお知らせください。

※詳細は、市ホームページまたはパンフレットをご覧ください。

☎スポーツ・生涯学習課

スポーツ振興係

☎2317・FAX 3123



指導に真剣に耳を傾ける

激しくぶつかり合う

十和田大会出場選手

交代 175 cm / 80 kg · 1年 齊藤 誠	交代 178 cm / 80 kg · 1年 畑山 泰成	大將 177 cm / 105 kg · 2年 安ヶ平 豪士	中堅 167 cm / 95 kg · 2年 山市 大悟	先鋒 170 cm / 130 kg · 2年 白山 征篤
-----------------------------------	------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------



安ヶ平主将

三本木農業高校相撲部
1・2年生の布陣で全国の強豪に挑む
昨年の選抜高校相撲十和田大会では惜しくも決勝トーナメント1回戦で敗れた三農相撲部。今年は3年生が不在です。
主将の安ヶ平くんは「一部に3年生がいないことで難しいこともあるが、誰も弱音を吐かずに頑張っています。このような状況でも昨年以上の成績をめざして頑張りたいです」と力強く語り、稽古にもくもくと取り組みます。1年生5人、2年生3人の計8人の全員で、日頃の稽古の成果を発揮して全国の強豪校に挑みます。

選抜高校相撲十和田大会まもなく開催!

第64回選抜高校相撲十和田大会

とき 8月15日(土)午前8時30分~
ところ 市相撲場
入場料 前売り1,000円、当日1,500円
高校生以下無料

第50回全日本大学選抜相撲十和田大会

とき 8月14日(金)午前9時~
ところ 市相撲場
入場料 前売り1,500円、当日2,000円
高校生以下無料

※入場券は、市総合体育センター、市内スポーツ店、市職員生活協同組合で発売中!

☎スポーツ・生涯学習課スポーツ振興係 2317

今回のテーマは 移住促進

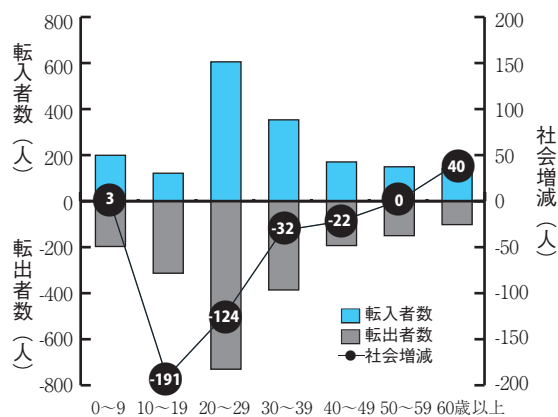
本市の人口動態を分析すると、平成26年の出生が408人に対して死亡が768人と自然減が大きいことがわかります。

その他10代、20代の若い世代が就職や進学で首都圏へ流出していることや、今後の推計では市街地よりも市街地以外の人口減少率が非常に大きいことが浮かび上がります。

一方、首都圏などの都市部では、地方への移住を検討する人が増えています。

可能な限り人口減少を抑制し、住みよい地域を維持するために、十和田市への移住・定住を推進します。

平成26年市の年代別社会増減



総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」から

移住、定住に有効な 施策のアイデアを募集します



市では、今年度から移住するかたの新築住宅費を補助するなど移住推進に取り組んでいますが、さらに移住を推進する取り組みを市民の皆さんから募集します。頂いた提案は、まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に活用します。

提出方法 (いずれかの方法で)

郵便・FAX・電子メール・持参

提出先 政策財政課 FAX④9616

電子メールseisakuzaisei@city.towada.lg.jp

提出期限 平成27年8月31日(月)

様式 自由

(住所・氏名・電話番号を記入してください)

※提案は十和田市総合戦略会議などで公表することがあります(個人情報は除く)。

※提案内容の確認のため、問い合わせをする場合があります。

移住促進

の取り組み



▲昨年、首都圏で移住相談・セミナーを開催しています。当市の紹介パンフレットを作成し、首都圏に向けて発信します。



◀昨年10月に実施した移住お試しツアー。10人の応募者が当市の様子を真剣に視察していました。

当市への移住者を紹介します



はざわ ゆうすけ
羽沢 友佐さん

札幌のイタリアンレストランに勤務していたとき、素材に興味を持って就農を考えました。料理は10から100を、農業は1から10を作る仕事。

農業の研修後、農業施設を借りることができたので十和田に移住しました。土と水と人が良いのが十和田。災害が少ないことも助かっています。

PROFIFE

青森市出身。当市で新規就農した。主力はトマト。営農しながらCAFE orta (カフェオルタ) を開設し、自給の食材を中心にナチュラルフードを提供している。

「十和田市移住応援サポーター」を募集します!



移住を考えているかた、お試して短期間移住するかたの身近な相談役として協力していただく移住応援サポーターを随時募集します。登録後、要請に応じて協力していただきます。資格や年齢などの条件はありません。

皆さんの応募をお待ちしています。

❖応募の方法

政策財政課備え付け、または市ホームページからダウンロードした申込用紙に記入の上、持参または郵送、FAXで提出してください。



とわだに **愛** にいこう!

B-1グランプリ、楽しみにしています♪

河村圭佑さん・河村沙紀さん (旧姓・今泉)

☎B-1 グランプリin十和田実行委員会事務局 ☎6799

8月14日から B-1 グランプリチケット前売り販売が始まります

8月14日のB-1 グランプリin十和田開催50日前から大会チケットの前売り販売を開始します。

当日もチケットの販売はありますが、チケットブースの混雑が予想されますので、前もって購入することをお勧めします。

出展団体が提供する料理を購入するには、このチケットが必要です。現金での購入はできません。

チケットは併催イベント『魅力発信!! アオモリ・コレクション』、『十和田づくしフェア』やチケット利用協力店でも利用できます。

チケット料金

1冊1,000円 (100円券10枚つづり)

チケット利用期間

10月3日(土)~10月31日(土)



チケット販売店 (市内)
十和田商工会議所
(一社) 十和田市観光協会 (AST)
十和田湖商工会
道の駅奥入瀬
道の駅とわだ
スーパーカケモ各店 (七戸店含む)
ユニバース東一番町店 (9/1 から)
パワーズU十和田店 (9/1 から)
イオンスーパーセンター十和田店

※このほか、三沢市・七戸町・六戸町の商工会、八戸商工会議所でも販売します。
 ※詳しくは、ホームページでご確認ください。

大会50日前 先着50名に十和田バラ焼キッズ玉ネギプレゼント!

8月14日のチケット前売り販売開始に伴い、アートステーショントワダ駐車場内特設会場で、チケット購入者先着50名に、十和田バラ焼キッズが収穫した玉ネぎをプレゼントします。

この玉ネぎは、三本木農業高校生が育てあげたものを、十和田バラ焼キッズが収穫した、たくさんの愛がつまったものです。

ぜひ、前売りチケットの購入に足を運んでください。

とき 8月14日(金)午前11時~

ところ アートステーショントワダ駐車場内特設会場



▲十和田バラ焼キッズの玉ネぎ収穫の様子

開催100日前イベント 『100人で織りなす南部裂織』開催しました

6月25日、市民交流プラザ『トワレ』で、『100人で織りなす南部裂織~想いをつなぐ地域愛、地域をつなぐ人間愛』が開催されました。

これは、『南部裂織』の縦糸と横糸の交わりを、今大会のコンセプトである『想いをつなぐ地域愛、地域をつなぐ人間愛』と見立て、大会への愛を織り上げようと企画したものです。

今回、南部裂織で製作したものは、B-1 グランプリで上位入賞3団体に贈呈されるゴールド、シルバー、ブロンズの箸に合わせた箸袋兼卓布となる予定です。

イベントには、北園幼稚園(沢目玲子園長)とカトリック幼稚園(高木由加里園長)の園児63人と一般参加者、また大会に出展する9団体が参加し、南部裂織保存会(吹越雅子会長)の指導を受けながら、3台の地機じばんを使って、布を織り上げました。



◀南部裂織保存会の皆さんに、手取り足取り教わり、園児らも織り上げました

出展団体の皆さんも▶
 ゴールドグランプリを獲れるように願いを込めます



みんなで
出かけよう



上十三・十和田湖広域定住自立圏圏域のイベント情報をお届けします♪

三沢市

三沢まつり

- ▶とき 8月20日(木)～8月23日(日)
- ▶ところ 三沢市街地区
- 問三沢市商工会 ☎019-2175



みさわ港まつり

- ▶とき 8月30日(日)午前9時30分～
- ▶ところ 三沢漁港魚市場ほか
- 問みさわ港まつり協賛会事務局 ☎019-5111 (内線512)

小川原湖漕ぎ大会2015

- ▶とき 9月5日(土)～9月6日(日)
- ▶ところ 小川原湖観光センター
レークピア付近

問小川原湖漕ぎ大会実行委員会事務局 ☎080-6023-7191



野辺地町

のへじ祇園まつり

- ▶とき 8月20日(木)～8月23日(日)
- ▶ところ 野辺地町内
- 問(一財)野辺地町観光協会 ☎0175-649555

七戸町

しちのへ夏まつり2015

- ▶とき 8月16日(日)午前9時～

▶ところ 七戸町中央公園
問七戸町商工観光課 ☎0175-2137

横浜町

2015横浜町ふるさとのまつり

- ▶とき 8月14日(金)午前11時30分～
- ▶ところ 三保野公園ほか
- 問横浜町産業振興課 ☎0175-2111 (内線351)

六ヶ所村

ふるさと新鮮朝市

- ▶とき 8月8日(土)午前7時～9時
8月22日(土)午前8時～10時
- ▶ところ 泊地区イベント広場(8日)
スワニーイベント広場(22日)
- 問六ヶ所村商工会 ☎0175-2331

おいらせ町

トキ♡メキ街コンinおいらせ ～おりひめ・ひこぼし伝説第2章～

- ▶とき 8月8日(土)午後6時～9時
- ▶ところ カワヨグリーン牧場
グリーンホール
- 問おいらせ町婚活イベント実行委員会事務局(田中) ☎090-4818-8749



とわだの文化財❖21 ～十和田市の文化財を紹介するコーナーです 問スポーツ・生涯学習課☎019-2313

年中行事

「トシナ」と「ヤサラ」

昔、南部地方一帯では、村や家への魔物・悪霊の侵入阻止、家人の健康祈願や厄払いなどのためにさまざまな行事が行われていました。

中でもこの二つの行事は、かつて市内の各集落で行われていました。



板ノ沢集落



梅集落

トシナ



ヤサラ膳



板ノ沢集落のヤサラ

ヤサラ

トシナ(年縄)は、悪霊の侵入を防ぐため、いろいろな呪具を吊るしたトシナを張る行事で、今は春の彼岸の中日に行われています。トシナは左縄(ひだりな)で、長さは約10m、太さ約5cm。房の数は集落ごとに異なり、房の間に杵(きね)・刀(マンダ(標準名シナノキ)で作られたもの)、杉の葉、モンガクバラ(標準名サルトリイバラ)、ニンニクをはさみます。年ごとの輪番制で決めた宿(ヤサラ宿という)に人々が集まり結び上げ、村の出入り口に道を横切るように張ります。そしてお神酒(かみ)を供え、拜んで皆で飲みます。

ヤサラは、家族が病気や怪我(けが)をしないようにとの願いが込められた行事で、トシナの後に行われています。ヤサラ宿に親族一同が集まると、宿の主婦が主人の前にヤサラ膳を据え、一同は着座します。主婦が膳の上の八つの容器に右回りに酒を注ぎます。その後中央の大きな容器に注ぎ、膳を主人の方に押し出します。主人は膳を両手で受け取って下に置き、中央の大きな容器を取って拌み、それを飲みます。一同がそれにならない、小さな容器を取って飲みます。

トシナとヤサラは、市内では一体となつて同時に行われている場合が見受けられます。

【文責・十和田市文化財保護協会】

8月の健康カレンダー



●乳幼児健診・母子健康相談

▶問診票・母子健康手帳を持参してください。

内容	受付時間	ところ・問い合わせ
◆4か月児健診 健診日までに満4か月に達する乳児	11日(火) 12:00~12:45 ※バスタオル持参	保健センター 健康増進課 ☎⑤6792
◆1歳6か月児健診 平成26年2月生まれの幼児	19日(水)※歯ブラシ持参 12:00~12:45	
◆2歳児発達健診 平成25年2月生まれの幼児	20日(木)※歯ブラシ持参 12:00~12:45	
◆3歳児健診 平成24年2月生まれの幼児	18日(火) 12:00~12:45	

※2歳児発達健診は2歳6か月児が対象です。問診票は1歳6か月児健診時に母子健康手帳に挟めて配布しています。

※3歳児健診は3歳6か月児が対象です。

※発熱や感染症治療中のときは、翌月以降に受診してください。

●パパ・ママ教室

対象	内容	受付時間	ところ・問い合わせ
妊婦とその家族(夫・赤ちゃんの祖父母)	妊娠・出産・育児の心構え講座や赤ちゃんふれあい体験、調理	9月1日(火) 12:30~13:00 ※要予約	保健センター 健康増進課 ☎⑤6792

●各種相談

内容	受付時間	ところ・問い合わせ
◆こころの相談 心の悩み、不眠、飲酒など気がかりのあるかた、家族	9月2日(水) 14:00~15:00 ※8月31日(月)まで要予約	保健センター 健康増進課 ☎⑤6791
◆栄養相談 市内在住のかた	21日(金) 9:30~13:15 ※17日(月)まで要予約	
◆もの忘れ相談 もの忘れや認知症の不安がある65歳以上のかた、家族	19日(水) 14:00~15:30 ※14日(金)まで要予約	市役所新館3階会議室A 高年齢介護課 ☎⑤6720
◆療育相談 首すわり、おすわり、歩き始めが遅い気がするなど発育や発達について心配のあるお子さんの家族	26日(水)※要予約 継続のかた ▶9:30~10:30 新規のかた ▶10:30~11:00	上十三保健所 ☎③4261
◆B型・C型肝炎検査 一般のかた	4日(火)・18日(火)※要予約 13:00~14:00	
◆精神保健福祉相談 心の悩みや病気に関する相談を希望するかた	19日(水)※要予約 13:00~14:00	
◆女性健康相談 思春期や不妊、更年期障害などにお悩みのかた	18日(火) 10:00~10:30	
◆エイズに関する相談 一般のかた	4日(火)・18日(火)※要予約 13:00~14:00	

●献血のお知らせ

健康増進課健康管理係 ☎⑤6790

実施予定日	時間	場所
13日(木)	10:00~12:00	JA十和田おいらせ本店
	13:30~16:00	十和田市立中央病院
21日(金)	10:00~16:00	十和田市役所

第2回さわやか健康講座のお知らせ メタボとロコモ〜健康で長生きするために〜

運動器疾患の治療と予防を学んで、健康で長生きをしましょう!(市民大学講座と共催です。)

「健康とわだポイントラリー」対象講座です。

とき 8月26日(水)午後6時30分~8時30分

※受け付けは午後6時からです。

ところ 市民文化センター

講師 弘前大学大学院医学研究科整形外科学講座

教授 石橋 恭之 さん

申込期限 8月19日(水)

健康増進課保健相談係 ☎⑤6791

食中毒に気を付けましょう

夏は食中毒が発生しやすい季節です。施設・飲食店などでの集団食中毒のほか、各家庭でも起こります。これからの季節、家庭の台所でも食品の取り扱いなどには十分注意し、予防を心掛けましょう。

◎家庭でできる食中毒予防のポイント

- ・食品は鮮度や消費期限などに気を付けて購入する。
- ・加熱して調理する食品は十分に加熱する。
- ・調理や食事の前に手を洗う。
- ・まな板・布巾・食器類をよく洗う。
- ・冷蔵庫内の食品などの詰めすぎに注意する。

熱中症を予防しよう!

熱中症とは、気温・湿度の上昇により、体の体温調節機能がうまく働かず、体内の熱をうまく放出できなくなり、体温が異常に上昇することです。暑さの感じ方は人によって異なりますが、その日の体調にも影響されます。また、高齢者や子ども、障害のあるかたは特に注意が必要です。

◎熱中症予防は湿度管理と水分補給

- ①室温28℃、湿度60%以下を目安にエアコンを利用するなどして調節しましょう。
- ②のどが渇いていなくても、1日1.2ℓを目安に水分をとりましょう。
 - ・起きている間はこまめに、特に入浴や睡眠の前後には忘れずに水分を補給しましょう。
 - ・出かける際には、いつでも水分補給できるように水筒などを携帯しましょう。
- ③熱を発散しやすい衣服を選びましょう。
 - ・通気がよく、吸湿性・速乾性のある衣服を着用しましょう。
 - ・直射日光を遮るために、帽子や日傘を利用しましょう。

健康増進課保健指導係 ☎⑤6792



7/5 健康を楽しもう♪ 夏のエンジョイウォーク



運動は継続が大切。家族や友人、地域のかたがたと声を掛け合って、運動の習慣をつけましょう

生活の中に『運動』を取り入れるため、手軽に始められ、健康効果の高いウォーキングを体験する『夏のとわだエンジョイウォーク』が開催されました。

陸上競技場に集合した参加者 281 人は、準備運動とウォーキングに関するレクチャーを受けた後、官庁街コース (2.9 km)、商店街コース (5.8 km)、ノルディックウォーク体験 (陸上競技場から官庁街) の希望のコースに分かれて出発し、心地よい汗をかきました。

6/27 武士道精神に学ぼう 平成 27 年度『寺子屋稲生塾』開講



高橋さんからの問い掛けにしっかりと自分の意見を述べました

南公民館で、次代を担う人づくりを目的に、講話・体験・交流を通して道徳心などを育む『寺子屋稲生塾』(小山田久塾長) の開講式が行われました。

第 1 回目の講座では『こども武士道』の著者で児童書作家の高橋和の助さんによる『武士道白熱教室』が行われ、『戦争と平和』について塾生に身近なけんかを例に挙げ、けんかに巻き込まれたときの対応をどうするべきかなど、積極的な意見が交わされました。

7/4・5 道の駅「奥入瀬」は開設20周年! 奥入瀬ろまんパークフェスティバル



おからドーナツやヨーグルトが無料で振る舞われると、長い列ができました

道の駅『奥入瀬』奥入瀬ろまんパークで『奥入瀬ろまんパークフェスティバル』が開催されました。

5 日に行われた『第 13 回県南郷土芸能フェスティバル』では県南地方の 6 団体が出演。熱心な演舞に多くの観客からたくさんの拍手が送られました。

物産館周辺では屋台が軒を並べたほか、チェンソーアートの実演やハーレーダビットソンの試乗会など、緑広がる敷地のあちらこちらでにぎわいを見せました。



トノサマガエルのオスとメスの見分け方を教わりました

6/26 そーっとのぞいて見てごらん♪ 『沼袋の水』で環境を考える

市立西小学校 (高松純一校長) と市名水保全対策協議会 (竹島勝昭会長) と『沼袋の水』水地を守る赤沼町内会が連携し、同校 4 年生 30 人が自然環境体験学習を行いました。北里大学獣医学部生物環境科学科講師の柿野亘さんを講師に迎え、教室で学習した後、『沼袋の水名水公園』に移動して、たくさんの水生生物を発見しました。児童らは、貴重な経験を通して、自然環境と生物多様性を守り続けることの大切さを学びました。

6/30 東小学校「美しいあいさつ日本一」を進める仲間 『オアシスマン』誕生!



『美しいあいさつ日本一』を目指す東っ子に新しい仲間ができました。オアシスマンをよろしくお願ひします

市立東小学校 (鈴木仁校長) で、同校が取り組む『美しいあいさつ日本一』を目指した教育活動を応援するシンボルキャラクター『オアシスマン』のお披露目式が行われました。全校児童からデザイン画を募集した中から選ばれた井上千綾さん (4 年) は、「名前はあいさつの頭文字をとったオアシス運動から名付け、デザインは、砂漠の中のオアシス、東小カラーの青などきれいな明るい色で元気いっぱい表現しました」と話しました。

6/23 「徒然草」に学ぶ人生の知恵 古典文学の魅力に触れる読書講演会



三村さんは「読書は多くの友に会えるもの。このすがすがしい図書館で多くの体験をしてください」と呼び掛けました

市民図書館で、市読書団体連絡協議会 (乙供亮子代表) が、古典文学が専門で八戸学院短期大学客員教授でもある三村三千代さんを講師に迎え、読書講演会を開催し、約 30 人が聴講しました。三村さんは、『古典文学の魅力』と題して講演し、「古典文学には現代にも通じる人生の知恵がある」と『徒然草』の随所を解説しました。景色や登場人物の思いまでが有りありと浮かぶような講演に参加者は引き込まれていきました。

6/28 長〜いのり巻き作りに挑戦! とわだストリートフェスタ 2015



できたー! 70メートルの長〜いのり巻き完成!

旧国道 4 号八丁目街区で、七・八丁目商店街振興組合 (吉田和雄理事長) が『とわだストリートフェスタ 2015』を開催しました。雨のため、フェスタ恒例の『のり巻き作り』はアーケードで行われましたが、約 150 人の市民が 70 メートルの『のり巻き作り』に挑戦。できたてを参加者全員で食べました。お母さんと祖父母と参加した十文字透真くん (4 歳) は「のり巻き大好きです。かんぴょうがおいしいです」と頬をいっぱい膨らませて話しました。



市の特産の長イモを使ったカルシウムたっぷりの「長イモ牛乳かんでん」などが振る舞われました

6/21 市食生活改善推進委員会発足30周年! 食生活改善推進委員会まつり

市民交流プラザで、市食生活改善推進委員会 (小林博子会長) が発足 30 周年の記念事業として食生活改善推進委員会まつりを開催し、約 450 人が参加しました。

食育コーナーでは、昆布やにぼしを 24 時間水につけるだけでできる『だし』を使ったみそ汁などの試食が行われました。参加者は減塩やバランスの良い食事をとることや、生活の中で運動を取り入れることなど、健康への意識を高めました。



市役所代表

☎ 23 5111

FAX 22 5100

土・日曜日および祝日は閉庁

◆お知らせの表記

☎…問い合わせ先

☎…申し込み先

※費用の記載がないものは無料です。

国民健康保険のお知らせ

■国民健康保険限度額適用認定証の申請期限が到来します

病気やけがなどにより、毎月の医療費が高額になるかたを対象にしたもので、窓口にて提示することで医療費が自己負担限度額までの支払いとなる認定証です。新たに認定証を希望するかたは随時受け付けします。※国保税を滞納しているかたには交付できません。

必要な物 ▼国民健康保険被保険者証▼更新するかたは現在の認定証

申請期限 8月31日(月)

■新しい被保険証の転送について

10月1日から使用する国民健康保険被保険者証を9月中旬に送付します。特別な事情で住所地に居住していない世帯のかたは、郵便局で転送の手続きをするか、当課に転送依頼をしてください。

☎国民健康保険課 ☎516750

介護保険のお知らせ

■介護保険負担割合証を発行します

8月から一定以上の所得がある65歳以上のかたがサービスを利用したときには、利用者負担が2割になります(現行は1割)。それに伴い、要支援、要介護の認定を受けているかた全員に、負担割合が記載された「介護保険負担割合証」を送付します。サービス利用時には、介護保険被保険者証と合わせてサービス提供事業所に提示してください。

■高額介護サービス費の限度額が引き上げられます

医療保険制度における現役並み所得者に相当するかたは、8月分から高額介護サービス費の自己負担限度額が月額37200円から月額44400円に引き上げられます。申請により限度額が引き下げられる可能性のあるかたに対しては申請書を送付しています。

☎高齢介護課 ☎516722

障害児福祉手当・特別障害者手当をご存じですか

■障害児福祉手当

20歳未満で、政令で定める重度の障害があり、日常生活において常時介護を必要とする在宅の障害児に対して支給される手当です。ただし、障害を支給事由とする年金の給付を受けている場合、または施設に入所している場合は対象となりません。

■特別障害者手当

20歳以上で、政令で定める重度の障害が重複するなど、日常生活において常時特別の介護を必要とする在宅の重度障害者に対して支給される手当です。ただし、施設に入所している場合、または病院などに3カ月を超えて入院している場合は対象となりません。

※いずれも所得制限があります。また手続きには診断書などの提出が必要になります。

☎福祉課 ☎516718

児童扶養手当現況届・特別児童扶養手当所得状況届の提出受け付け

児童扶養手当受給資格者は現況届、特別児童扶養手当受給資格者は所得状況届の提出が必要となります。提出がない場合、手当の支給ができないことがあります。忘れずに手続きをしてください。

受付期間 ▼児童扶養手当 8月31日(月) 31日(月)

▼特別児童扶養手当 8月11日(火) 9月10日(木)

※対象者には封書で通知しています。必要書類を確認してください。

☎福祉課 ☎516716

野焼きは禁止、不法投棄は犯罪です

ごみの焼却は、悪臭やダイオキシン類の発生原因となるため、ごく一部を除き法律で禁止されています。

また、古い家電や粗大ごみなどの不法投棄が相次いで見つかっていきます。不法投棄は犯罪です。

※どちらも罰則があります

☎まちづくり支援課 ☎516726

「年金情報流出」を口実にした振り込め詐欺や個人情報の詐取にご注意ください

日本年金機構への不正アクセスによる年金情報流出を悪用した不審電話が発生しています。次のようなことはありませんので、ご注意ください。日本年金機構や年金事務所から皆さんに対して

▼電話やメールをすることはありません。情報流出が確認されたかたには、郵送でお知らせします。

▼お金やキャッシュカードを要求することはありません。

▼ATMの操作をお願いすることはありません。

▼家族構成などの個人情報を問い合わせることはありません。

※不審な電話がかかってきたり、ご自分の情報が流出していないかご心配なかたは、専用電話窓口へご相談ください。

日本年金機構専用電話窓口

☎0120・818211(午前8時30分〜午後9時、通話料金は掛かりません)

☎市民課 ☎516753

できることを着実に！我が家の **ごみを減らそう！リサイクルを増やそう！**

問まちづくり支援課 ☎ 6726

「第2次十和田市ごみ減量行動計画」では、ごみの減量化とリサイクル率の向上に向けて具体的な目標値を設定しています。暮らし続けられる社会づくりのため、皆さん一人一人の取り組みをお願いします。

	平成 25 年度	28 年度目標
一人一日当たりのごみ排出量	999 g	909 g
リサイクル率	20.1%	25%

一日一人 90 g の減量を目指して行動しよう

- ◆ マイバッグの活用や詰め替え商品の購入など、環境にやさしい買い物をしよう
- ◆ 紙ごみの分別を増やし、資源回収に協力しよう
- ◆ 生ごみの水切りと、食品ロスの削減を心掛けよう
- ◆ 衣類のリユース・リサイクルをしよう
- ◆ 集団回収やスーパーなどの店頭回収を利用しよう

中心市街地空き店舗活用事業

商店街の空き店舗に新規出店するかたに、改築・改装工事費の一部を補助します。

対象空き店舗 稲生町11番〜24番の区間（通称一丁目〜八丁目の商店街区）にあり、過去に営業していたが、現在1カ月以上営業が行われていない店舗

対象事業 小売業・サービス業（飲食業含む）、コミュニティビジネス、その他これらに類する事業で別に定めあり

対象要件 ▼2年以上継続して営業する▼週4日以上、通年営業する▼昼間の営業時間が夜間の営業時間以上とする▼市税を滞納していない▼移転または多店舗展開による出店でない▼改修などの施工は市内に事業所を有する業者に請け負わせる▼商店街振興組合に加入する

補助金額 補助対象経費の2分の1以内（上限50万円）

※詳細はお問い合わせください。
問 商工労政課 ☎ 6773



戦後、海外から引き揚げて来られたかたがたへ

税関では、戦後、海外から引き揚げて来られたかたがたからお預かりした次のものをお返ししています。返還請求はご本人だけでなく家族もできます。お気軽にお問い合わせください。

▼終戦後、海外から引き揚げて来られたかたがたが、上陸地の税関・海運局に預けられた通貨・証券。
▼帰国前に樺太、満州にあった在外公館、日本人自治会に預けられた通貨・証券のうち日本に返還されたもの。

問 八戸税関支署統括監視官部門
☎ 0178-333-0423

自転車の運転ルールを守りましょう

6月1日から道路交通法が改正され、3年以内に酒酔い運転や信号無視などの危険な違反行為を2回以上繰り返した自転車運転者に安全講習が義務付けられました。

対象となる主な違反行為には右側通行、一時停止違反、制動装置（ブレーキ）不備不良の自転車運転なども含まれます。

この安全講習を受講しなければ、5万円以下の罰金となります。

問 まちづくり支援課
☎ 6777



新渡戸記念館廃止のお知らせ

昭和40年に建設した市立新渡戸記念館は、十和田市の開拓にかかる新渡戸家三代に関する史料や新渡戸稲造先生の遺品などを展示・保管してまいりました。しかし、昨年度に実施した耐震診断の結果、コンクリート強度が極端に低く、補強工事が困難とされたことから、市民や入館者の安全と、貴重な史料の保全を第一に考え、記念館の廃止条例を提案し、平成27年第2回定例市議会において可決されました。

市では、旧新渡戸記念館の貴重な史料は、一時的に市馬事公苑内の称徳館において、安全に保存、展示したいと考えています。

また、新しい施設については、今年から進めている公共施設整備計画の中で、市民のかたがたのご意見を伺いながら検討してまいります。

旧新渡戸記念館内にある史料は後世に伝えるべき貴重なものです。その保存方法などの協議には時間を要することから、当面は史料の状態を維持するため、史料が収蔵されている旧新渡戸記念館の電気などの供給や設備は継続してまいります。

問 観光推進課 ☎ 6771

「人・農地プラン」に関する集落座談会開催

「人と農地の問題」の解決に向けて「人・農地プラン」の見直しのため、集落座談会を行います。この座談会では地域の中心となる経営体や地域農業のありかたについて話し合います。地域の中心となる経営体は各種支援が受けられますので、該当地区の座談会にご参加ください。

◆ 集落座談会開催日程 ◆

開催日	開催場所	対象地区
24日(月)	市役所新館 4階会議室	三本木、切田
25日(火)		深持、大深内、東部
26日(水)	市役所新館 3階会議室	藤坂、六日町
27日(木)		伝法寺、四和
28日(金)	十和田湖公民館	旧十和田湖町

※いずれも午後6時から開催

☎ 農林畜産課 ⑤16741

下水道にごみや油を流さないでください

近年、油分やごみを流すことで下水管の詰まりや悪臭が発生し、市民生活に支障を来す事例が生じています。野菜くずや残飯、てんぷら油などの廃油は適正に処分し、排水口から流さないでください。

☎ 下水道課 ⑤4015



平成28年4月採用の市職員を募集します

募集職種・人員

▽ 一般行政

▽ 事務 大卒程度 8人程度 (社会福祉士資格取得者1人を含む)

▽ 事務 高卒程度 3人程度

▽ 建築 一級または二級建築士

大卒・高卒程度 各1人程度

▽ 土木 一級または二級土木施工管理技士 大卒・高卒程度

各1人程度

▽ 電気 大卒程度 1人程度

▽ 一般行政・社会人枠 (条件あり)

▽ 土木 1人程度

▽ 保健師 2人程度

第1次試験 9月20日(日)

県立十和田工業高校

試験案内(募集要項)・受験申込書

人事課、まちづくり支援課、十和田湖支所で交付します。

※受験資格など詳しくは、試験案内をご覧ください。また、市ホームページからもダウンロードできます。

申し込み方法 受験申込書に必要事項を記入の上、持参または郵送

申込期限 8月20日(木) (郵送の場合は、当日の消印有効)

☎ 人事課 ⑤6705

成人式実行委員を募集します

実行委員として、成人式の企画、運営をするかたを募集します。一生に一度の成人式を自分たちの手でプロデュースしてみませんか。

成人式開催日 平成28年1月10日(日)

応募資格 平成7年4月2日～9年

4月1日生まれで、9月以降に4

回程度開催される平日午後7時か

らの会議に出席できるかた

定員 20人程度

活動内容 式典、アトラクションの

企画・運営など

応募方法 次の事項を記入の上、8

月20日(木)までに応募してください

▼郵便番号▼住所▼氏名(ふりが

な)▼生年月日▼性別▼連絡先▼

職業(勤務先)または学校名

☎ スポーツ・生涯学習課

⑤2318

FAX ⑤3123

メール spo_gak@city

y.towada.lg.jp

プロジェクト マッピング2015

投影イラスト募集

11月21日(土)、22日(日)にアトステーショントワダと市現代美術館で開催される「十和田まちなかプロジェクト マッピング2015」

で投影するイラストを募集します。

応募資格 市内に在住・在学・在勤

する18才未満のかた

イラストの内容 本市にちなんだ

キャラクターを、A4からA3サイズまでの用紙にカラーで描いてください。キャラクターは駒松くんなどのほか、オリジナルでも結構です。

応募方法 イラスト作品に、次の事項を記入した用紙を添えて8月31日(月)までに提出してください。

▼キャラクター名▼オリジナルキャラクターのとき、意味やコンセプト▼応募者の住所▼氏名▼生年月日▼電話番号

※詳しくは市ホームページをご確認ください。

☎ 観光推進課 ⑤6772

津軽の史跡めぐり参加者募集

とき 8月31日(月)

午前7時30分南公民館集合

午前8時～午後6時30分

内容 つがる市、五所川原市の史跡めぐり(出来島の最終水期埋没林、つがる市縄文館、亀ヶ岡遺跡、太宰治疎開の家など)

費用 4500円(バス・昼食代)

申込期限 8月10日(月)

※雨天決行します。申し込みの際に氏名、住所、電話番号をお知らせください。

☎ 市文化財保護協会(力石)

FAX ⑤8433

平成27年度自衛官募集				
募集種目	応募資格	受付期間	試験期日・試験場所(予定)	
航空学生	高卒(見込含)21歳未満のかた	8月1日(出)～9月8日(火)	9月23日(水) 三沢市総合社会福祉センター	
一般曹候補生	18歳以上27歳未満のかた		9月19日(土) 三沢市公会堂	
自衛官候補生(任期制)			男子	9月25日(金) 空自三沢基地
			女子	9月28日(月) 陸自八戸駐屯地

※詳しくはお問い合わせください。

自衛隊青森地方協力本部三沢募集案内所 ☎ 1346

日本の「アメリカ」で働きませんか
職種および採用予定人員
▼重両装置運転手 38人
▼労務作業員 57人
内容 三沢基地内の除雪作業
雇用期間 11月上旬から平成28年3月末
※詳細については、駐留軍等労働者労務管理機構(エルモ)のホームページなどをご覧ください。
駐留軍等労働者労務管理機構(エルモ) 三沢支部管理課管理係 ☎ 4165

発明工夫・発明くふう展作品募集
◆第32回市発明工夫展作品募集
対象 高校生以上
内容 独創的な発明、考案の試作品
申込期限 8月28日(金)
申し込み方法 商工労政課に備え付けの申込書に記入の上、提出してください。
市発明協会事務局(商工労政課内) ☎ 6773
◆第51回市児童生徒発明くふう展作品募集
対象 市内小中学生
募集作品 発明くふう作品(工作物)、未来の科学の夢の絵(絵画)
申込期間 8月24日(月)～9月4日(金)
申し込み先 市内小中学校
※作品の提出先は各学校です。
南公民館 ☎ 4416
放送大学10月生募集
平成27年度第2学期(10月入学)の学生を募集しています。
放送大学はテレビなどの放送やインターネットを利用して授業を行う通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など幅広い分野を学べます。
申込期限 9月20日(日)
※放送大学ホームページでも受け付けします。
放送大学青森学習センター ☎ 0172-880500

県営上平団地入居者募集
対象 次のすべてに該当するかた
▼現に同居し、または同居しようとする親族のあるかた
▼収入が政令で定められた金額以下のかた
▼現在、住宅に困っているかた
▼暴力団員でないかた
▼県税または県営住宅の家賃を滞納していないかた
種別・募集戸数
▼1LDK 1戸
入居予定日 10月1日(木)
募集期間 8月3日(月)～14日(金)
選考方法 審査の上、応募者多数時公開抽選
南上北地域県民局建築指導課 ☎ 28111内線338
リフレッシュスポーツ教室第2期
とき 9月2日～11月25日までの水曜日 全11回
①午前10時～正午
②午後1時30分～3時30分
ところ 市総合体育センター
対象 ①18歳以上の男女(学生除く) ②シニア女性(おおむね60歳以上のかた)
※両方には参加できません。



定員 ①②各35人(先着順)
費用 ▼新規のかた2500円(参加料、保険料) ▼第1期に参加したかた650円(参加料)
申込期間 ▼新規のかた8月11日(火)～8月30日(日) ▼第1期に参加したかた8月18日(火)～30日(日)
午前9時～午後8時(日曜、祝日、第1月曜日は午後4時まで)
市総合体育センター ☎ 255555
十和田湖公民館講座 地域人材活用講座
■アートを楽しむⅡあなたのオリジナルを作る「布ぞうり教室」
とき 8月25日(火)・26日(水)
午前9時～午後3時
定員 15人(応募多数時抽選)
費用 700円(材料費)
持ち物 裁縫道具、ものさし、ハサミ、昼食
申込期限 8月10日(月)
■食を楽しむⅡ「お彼岸・つき返しだんご教室」
とき 9月3日(木)
午前9時30分～午後1時30分
ところ 沢田悠学館
定員 18人(応募多数時抽選)
費用 600円(材料費)
持ち物 エプロン、三角巾、布巾
申込期限 8月17日(月)
市十和田湖公民館 ☎ 22102

東公民館講座 ふるさと再発見
「雪中行軍と命を懸けた東道旗表七勇士」

青森歩兵第5連隊の悲劇に対し、弘前歩兵第31連隊の行軍を成功に導き、後に東道旗表と称えられた柏地区の7人の案内人の活躍を紹介していきます。

講師 青森市八甲田山雪中行軍遭難資料館 ボランティアガイド

山本 正教さん

とき 8月7日(金) 午後1時～3時

定員 60人

申込 東公民館 ☎249000

とわだみらい青年講座 第2講座
「地ビールの生い立ちを学ぼう」

各公民館などが企画した若者のための講座の2回目です。今回は十和田湖公民館の企画です。講座終了後、希望者による交流会を行います。

とき 8月28日(金) 午後7時～8時

交流会は午後9時まで

ところ 奥入瀬麦酒館

対象 概ね20歳～39歳のかた

定員 15人(先着順)

費用 交流会に参加するとき 2500円

申込期限 8月20日(木)

※送迎バスが午後6時30分に市役所

を出発します。

申込 スポーツ・生涯学習課 ☎22318

いきいき健康づくり軽スポーツ教室
■スポンジテニス教室

とき 9月4日・11日・18日(いずれも金曜日) 午前10時～正午

ところ 市総合体育センター

※室内用運動靴持参、傷害保険は各自で加入してください。

申込 スポーツ・生涯学習課 ☎22317



中心市街地活性化基本計画の市民説明会

平成27年3月に終了した中心市街地活計化計画の総括について説明し、今後の活性化について皆さんからご意見を伺います。

とき 8月7日(金)

午後7時～8時30分

ところ 市民交流プラザ

申込 商工労政課 ☎516773

平成27年度十和田市戦没者追悼式

先の大戦で亡くなられたかたがたを追悼し、平和への誓いを新たにすするため、戦没者追悼式を行います。

とき 8月19日(水)

午前10時～

ところ

市民文化センター

申込 福祉課 ☎516718



記帳・帳簿保存制度記帳説明会

平成26年1月から事業所得などがある全てのかたは、記帳と帳簿書類の保存が必要となりました。白色申告で営業所得・農業所得または不動産所得があるかたを対象に、記帳説明会を開催します。

とき 8月4日(火)

▼営業所得・不動産所得 午前10時～正午

▼農業所得 午後2時～4時

ところ 市民交流プラザ

申込 税務課 ☎516767

▼十和田税務署

☎233151

▼J・A十和田おいらせ

☎232434



世界アルツハイマーデー記念講演会

「地域で認知症と共に生きる」

認知症を学びましょう。当事者ご本人の講演を聞くことができる貴重な機会です。

とき 8月29日(土) 午後2時～4時

ところ 市民文化センター

▼「『うなずきと微笑み』の介護人

生」元介護家族 根城 候憲さん

▼「認知症になってからの二人の歩

み」若年性認知症ご本人とご家族

前田 栄治さん、美保子さん

申込 (公社) 認知症の人と家族の会青

森県支部 ☎0178350930

高齡介護課 ☎203671

元気な十和田市づくり市民活動支援事業 成果発表会

市では、市の元気につながる市民の自主的な取り組みを支援する「元気な十和田市づくり市民活動支援事業」を実施しています。

その取り組みの成果報告や活動紹介、市民の皆さんが参加できるワークショップなどを行います。詳しくは市ホームページをご覧ください。

とき 8月9日(日) 午前10時～正午

ところ 市民交流プラザ

内容 ▼平成26年度の支援事業活用

団体の発表、活動紹介

▼ワークショップ ①多肉植物の寄せ植え講座(要予約・先着30人・費用500円) ②ミニウマジン制作(費用300円)

※十和田湖・奥入瀬観光ボランティアの会発行「乙女の像のものがたり」掲載写真パネル展、セーフコミュニティの活動パネル展も開催されます。

申込 まちづくり支援課 ☎516725

夏休みおはなし会

絵本の読み聞かせや紙芝居を楽しみませんか。

とき 8月9日(日)

午前10時30分～11時30分

対象 幼児、小学生

◆読み聞かせは十和田NPO子どもセンター・ハピたのが行います。

申込 市民図書館 ☎237808



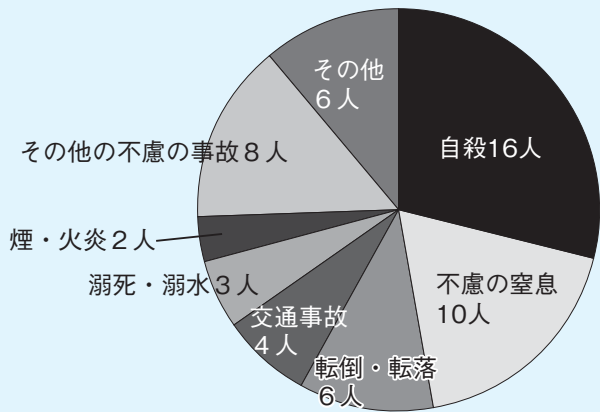


今日も無事でいてほしい *Safe Community*
みんなで声がけ いのちを守る とわだセーフコミュニティ

十和田市セーフコミュニティ 検索
問 まちづくり支援課
セーフコミュニティ係 ☎6777

市内では、自殺や不慮の窒息、交通事故などにより年間約55人もの尊い命が失われています。家庭や職場、地域で声を掛け合い、みんなで自殺や死亡事故を防ぎましょう。

市民の病気以外の死因 (55人)



資料：平成24年の人口動態統計より

十和田市いのちを守る運動月間
総決起大会

みんなで尊い命を守る機運を高め、事故やけがの予防に取り組みましょう！

とき 8月11日(火) 午後1時30分～3時
ところ 市民文化センター

◆安全・安心なまちづくり総決起大会

◆講演会「乳幼児の健康と安全を守るために～チャイルドシートに関する知識を高めましょう～」

講師 青森県立保健大学健康科学部講師
小笠原 メリッサさん

※講演会は先着200人で、申し込みが必要です。

☎青森県立保健大学 ☎017-765-4085

セーフコミュニティ認証を受けた8月はいのちを守る運動月間です

十和田市新人演奏会

本市にゆかりのある若手演奏家のフレッシュな演奏をお楽しみください。

とき 8月16日(日)

午後1時30分開場 2時開演

ところ 市民文化センター

出演者(出演順)

村田妃菜子(ピアノ)

日向翔(ピアノ)

田中翔(テノール)

類家美郷(ピアノ)

阿部史歩(ヴァイオリン)

平真子(ピアノ)

平菜摘(ピアノ)

山下実希(サクソフォン)

小野寺佳映(ピアノ)

田中結(ピアノ)

問 スポーツ・生涯学習課 ☎2313

「パークの日」高森山パークゴルフ場無料開放デー

8月9日を「パークの日」とし、用具のレンタルも含め無料開放します。

とき 8月9日(日)

午前8時30分～午後5時30分

定員 150人程度

※レンタルクラブが不足した場合はお待ちいただきます。かかとのある靴やスパイク靴ではプレーできません。

申し込み方法 当日、管理棟で受け付けをください。

問 高森山パークゴルフ場

☎6100

【有料広告欄】 総務課広報男女参画係 ☎6702

いずみ法律事務所 弁護士 鈴木 陽大 陽大 鈴木 陽大
弁護士 花生 耕子 耕子 花生 耕子
青森県弁護士会所属

離婚、相続、不動産
交通事故、債務整理

その他、様々な法的なお悩みについて
法律問題の専門家である弁護士にご相談を

☆初回30分法律相談料無料

TEL 0176-58-6558
青森県十和田市西一番町17番6号 2階
http://izumi-law.sakura.ne.jp

平成27年度排水設備工事責任技術者
試験(県下水道協会主催)

とき 10月21日(水) 午後2時～4時

ところ 八戸会場、青森会場ほか

受験料 8千円(別途、振込手数料
必要)

申込期間

8月14日(金)～9月1日(火)

(土・日曜日を除く)

※申込書は、上下水道部管理課で配
布します。

申し込み方法 申込書に所定の書類
を添えて直接管理課へ提出してく
ださい。

※受験資格など要件があります。詳
しくはお問い合わせください。

問 管理課 ☎4515

道の駅とわだ

■野菜の日イベント

8月31日(ヤサイ)の日にちなみ、産直とわだの特製産直野菜カレーを販売します。

※限定200食

とき 8月30日(日) 午前11時30分～

費用 200円

■3on3バスケットボール大会

道の駅とわだに特設コートを設置。3on3のバスケットボール大会を開催します。小・中学生から大人までどなたでもご参加ください。当日は青森ワッツの選手も特別参加する予定です。

とき 8月30日(日)

午前9時～午後4時

対象 1チーム4～5人とし、小学生以上

※費用はお問い合わせください。

申問 道の駅とわだ ☎ 3790

■駒っこランド

■夏休み特別企画「牧場の朝を体験しよう」

エサやり、馬の手入れなど馬のお世話や乗馬の体験をします。

とき 8月2日、9日、16日、23日、

30日(いずれも日曜日)

午前8時～10時

ところ 駒っこ牧場

対象 小学生、中学生

定員 各日6人(先着順)

費用 千円

※電話でお申し込みください。8月1日から受け付けます。

■楽しく学ぼう交通ルール！ミニ新幹線乗車会

ミニチュア新幹線の乗車会で、交通ルールも学べます。参加したかたには記念品をプレゼントします。

とき 8月16日(日)

午前10時30分～午後1時30分

ところ 交流館前

※直接会場において下さい。

申問 称徳館 ☎ 2100

現代美術館

■ジャンプ展関連企画 美術館で妄想工作！乙幡啓子ワークショップ

ホッケの開きペンケース「ほっケース」などユニークな作品を生み出す『妄想工作家』乙幡啓子さんとモノ作り。乙幡作品も展示します。

▼ワークショップ1「緩衝材で、遺跡の町をみんなで作る」

家電やパソコンの緩衝材をひっくり返すと「遺跡っぽい!」そんな妄想をひろげ遺跡の町を工作。完成後撮影会も行います。

とき 8月8日(土) 午後2時～4時

定員 15人

※撮影したいかたはカメラなどをご持参ください。

▼ワークショップ2「消しゴムはんこを彫って押して雑貨をつくらう」

消しゴムはんこを彫って押してオリジナル雑貨作り。ダイオウイカなど笑える乙幡はんこも押し放題!

とき 8月9日(日)

1回目午前10時～正午

2回目午後1時30分～3時30分

対象 カッターが使える子どもから大人まで(小さな子どもは乙幡はんこを自由に押しして雑貨をつくります)

定員 10人

◆いずれも、大学生以上は企画展の観覧券が必要です。電話で申し込みし、汚れてもよい服装で参加してください。

■アートな体験！夏休み手作りワークショップ

ビーズやプラバンのオリジナルアクセサリーや消しゴムはんこ作りなど日替わりで楽しめます。

とき 8月10日(月)～20日(木)(17日は除く)

午前10時～午後3時のいつでも

対象 子どもから大人まで

費用 500円(材料費)

講師 ヒトとテシゴト会

※事前の申し込みは不要です。

臨時開館のお知らせ

8月3日と10日(いずれも月曜日)は開館します。

現代美術館 ☎ 1127

【有料広告欄】

「広報とわだ」に広告を掲載しませんか。申込先 総務課広報男女参画係 ☎ 6702



社会福祉法人 福祉の里

老人保健施設 **みのり苑**



〒034-0061
十和田市大字切田字横道100-22
TEL 0176-25-1100 / FAX 25-1115



ケアハウスポナール十和田



〒034-0089
十和田市西二十三番町30-36
TEL 0176-22-2211 / FAX 22-5621



福祉の里 アネックス元町



〒034-0002
十和田市元町西一丁目13-36
TEL 0176-21-1888 / FAX 21-1880

福祉の里では、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士などの数多くの専門職が働いています。





市民の広場

市民の皆さんが行う催しの紹介、サークルなどの会員募集のコーナーです。費用の記載がないものは無料です。掲載希望のかたは市ホームページをご覧ください。

卓球教室参加者募集（後期）

市卓球協会が、基礎から指導します。

とき 8月27日～11月5日の毎週木曜日 午後6時30分～8時

ところ 市総合体育センター

対象 市内の小学生 定員 30人

費用 3,000円（後期会費）

持ち物 ラケット

申込期限 8月26日(水)

☎市卓球協会・三浦 ☎090-2273-1423

大町桂月没後90年記念 桂月が愛した十和田をめぐるツアー

参加者を募集します。

とき 8月30日(日) 雨天決行

市役所発午前8時30分

奥入瀬ろまんパーク発午前8時45分

ところ 桂月が命名した国立公園内の名所、桂月の資料館・歌碑・墓参り

定員 30人

費用 1,000円（昼食は各自）

※歩きやすい靴・服装でご参加ください。薦温泉で入浴できます。

☎大町桂月を語る会事務局・谷川 ☎090-7327-6343

ちご お稚児さん募集

とき 9月11日(金)・13日(日)

※正午までに三本木稲荷神社集合

対象 3～12歳のかた

定員 各日30人（先着順）

費用 1日4,500円（衣装、保険料）

申込期限 9月9日(水)

☎三本木稲荷神社 ☎23 2603

子供神輿担ぎ手募集

とき 9月11日(金) 午後5時～7時

※十和田市建設業組合（西二番町10-28）に午後4時集合

対象 3歳以上小学6年生まで（小学3年生までは保護者同伴）

※小学生以上の衣装は協会で準備します。衣装は先着順で大30着、小20着です。

☎十和田市建設業協会・上山 ☎22 1356

子どもの学VIVA無料体験会

子どもの自尊心を高め、思いやりの心を形にするワークショップ講座です。

とき 8月7日(金)

小学1～3年 午後1時～3時

小学4～6年 午後3時～5時

ところ 市民交流プラザ

対象 小学生

定員 各先着20人

持ち物 筆記用具

※6日(木)までにFAXかメールでお申し込みください。保護者の参加、見学もできます。

☎スマイルラボ ☎FAX ☎23 8922

メール smile@manaviva.info

第9回ポピュラーコーラス十和田と一緒に歌って楽しみましょう

300人で一緒に歌って、楽しいひと時を過ごしましょう。

とき 8月23日(日) 午後2時～4時

ところ 市民文化センター

内容 童謡、歌謡曲、世界のメロディーなど

※茶菓子を用意しています。空調の関係上、羽織るものをご準備ください。

☎ポピュラーコーラス十和田・久保 ☎23 5875

高齢者手づくり作品フェア

高齢者の手作り作品を展示します。

とき 8月22日(土)

午前10時～午後3時30分

ところ 市民交流プラザ

■「手作り体験コーナー」も開設します。

内容 牛乳パックで作る花入れと小物入れ

定員 先着10人 費用 50円

☎市老人クラブ連合会 ☎25 8633

【有料広告欄】 「広報とわだ」に広告を掲載しませんか。申込先 総務課広報男女参画係 ☎21 6702

《お気軽にご相談ください》

弁護士法人 青空と大地
（青森県弁護士会所属）
 弁護士 橋本明広 弁護士 塩澤将宏
 十和田市西三番町1番42号 NTT十和田ビル2階

取扱業務

民事全般、不動産、離婚、相続、成年後見、債務整理、会社関係、刑事（上記以外の事件も取り扱っています）

相談料 初回60分 5,000円（税別）
 （個人の多重債務相談は無料です。）
 相談は電話又は来所による予約制です。

☎0176 (21) 5162（受付時間 平日9時～17時30分）
<http://www.aozora-daichi.com>

借金のご相談 無料 任意整理…1社2万5千円



アカシアの森法律事務所

青森県弁護士会所属 弁護士 今井 正

- ①大手消費者金融へ5年以上返済を続けている。
- ②金利が25パーセント前後だった。

上記①、②に該当した方は過払い金が戻ってくるかもしれません。貸金業者が倒産する前に、善は急げ！まずはお電話ください。

ご相談はお電話で ☎0176-51-4317
 ご予約ください。

<http://www.acacia-forest.jp> アカシアの森法律事務所 （検索）
 〒034-0082 青森県十和田市西二番町8-4（十和田市現代美術館駐車場隣）



8月の市民無料相談

内容	日時
◆行政相談 行政機関などの業務に対する苦情、意見、要望などの相談	3日(月)・17日(月) 十和田湖支所同時開催 午後1時～3時
◆人権相談 いじめや差別、家庭内や隣近所とのめごとなどの相談	14日(金)・28日(金) 午後1時～3時
◆法律相談(定員7人) 相続、離婚、借金などの相談	26日(水) 午後1時～4時 ※19日(木)午前8時30分から予約開始
◆不動産相談 不動産の売買、不動産の賃貸借などの相談	13日(木) 午後1時～3時 ※6日(木)までに要予約
◆くらしとお金の相談 多重債務、生活資金などの相談	12日(水) 午前10時～午後4時 ※要予約
◆法テラス青森(法律相談) 借金・離婚・労働問題などの相談 ※資力基準に該当するかた	11日(火)・25日(火) 午後1時～4時 ※予約先 ☎ 050-3383-5552
◆消費生活相談 悪質商法、架空請求、製品事故などの消費生活の相談	毎週月～金曜日 午前8時30分～午後4時30分 ※要予約
◆交通事故相談 交通事故による損害賠償、示談などの相談	18日(火) ※予約先県庁 ☎ 017-734-9235

ところ まちづくり支援課市民相談室

☎まちづくり支援課 ☎⑤ 6777

内容	日時
◆市税夜間納付・相談窓口	3日(月)～7日(金)、 24日(月)～28日(金)、 31日(月)～9月4日(金)

とき 午後5時30分～8時

ところ 収納課


☎収納課 ☎⑤ 6760

8月31日(月)が納期限です

市民税・県民税第2期 国民健康保険税第2期
介護保険料第2期 後期高齢者医療保険料第2期

登記相談を予約制で行っています

登記申請するかたのために、事前予約制による登記相談を実施しています。予約がない場合はお待ちいただくことになります。相談時間は20分以内です。
☎青森地方法務局 ☎③ 2424



常設展示市民無料デー **8/10**(月)

☎現代美術館 ☎⑩ 1127

免許証や保険証など住所が確認できるものを受け付けに提示してください。

休日当番医 ☎健康増進課 ☎⑤ 6790

2日(日)	篠田医院 ☎③2022
9日(日)	藤井産婦人科医院 ☎②5588
16日(日)	えとクリニック ☎⑤2525
23日(日)	かわむらクリニック ☎⑩1505
30日(日)	さとの整形外科クリニック ☎②5885

その他の催し <>…開始時間

1(土)	<ul style="list-style-type: none"> ▶紙しばい倶楽部とわだ <10:30>～市民図書館 (☎市民図書館 ☎③7808) ▶南公民館水墨画さわやかサークル「墨に遊ぶ」～市民文化センター (☎南公民館水墨画さわやかサークル・武内 ☎③2497) (～31日) ▶三本木高校付属中学校 平成27年度学校説明会<13:30>～市民文化センター (☎三本木高校付属中学校 ☎④1184) ▶第三ステージ支援事業 劇団「かしの会」演劇と朗読 演劇『次の駅は』朗読『津軽』<①14:00・②18:30>～市民文化センター (☎スポーツ・生涯学習課 ☎②2313)
2(日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶オーストリアからの風<13:00>～市民文化センター (☎声と響きの会 ☎090-2522-6966) ▶チャレンジ!能トレ<13:30>～市民文化センター (要申し込み) (☎十和田宝生会・高橋 ☎070-5090-6784)
7(金)	<ul style="list-style-type: none"> ▶星空観望会「夏の星座と土星を見よう!」<19:30>～市民文化センター (☎市民文化センター ☎②5200) ▶おしゃべりサロン「クローバー」<①10:00・②13:30>～保健センター (☎傾聴サロンとわだ・黒子 ☎090-2796-0999)
8(土)	<ul style="list-style-type: none"> ▶語りの会・こま草「おはなしのゆうびん屋さん」<①10:30・②13:30>～市民図書館 (☎市民図書館 ☎③7808) (22日も開催) ▶話しのサロン・こころの広場ルピナス<10:00>～勤労青少年ホーム (☎健康増進課 ☎⑤6791) (22日も開催)
9(日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶北心祭<10:00>～市民文化センター (☎小さな森保育園 ☎③4793) ▶柳家一琴 ①おやお寄席 ②独演会<①13:00・②17:30>～市民文化センター (前売券のみ①一般1,500円、小中高生500円 ②一般2,000円、中高生1,000円・未就学児の入場はできません) (☎桂文我の落語を聴く会・西野 ☎③3238)
23(日)	▶普通救命講習会<9:00>～十和田消防署 (対象:中学生以上の市民) (☎十和田消防署 ☎⑤4115)
26(水)	▶十和田市民大学講座 第3講座<18:30>～市民文化センター (講師:石橋恭之さん) (☎スポーツ・生涯学習課 ☎⑦2318)
29(土)	▶わっこの会「読み聞かせ」<10:30>～市民図書館 (☎市民図書館 ☎③7808)
30(日)	▶すみ子モダンバレエ研究所 35周年記念発表会<13:00>～市民文化センター (☎すみ子モダンバレエ研究所 ☎0178-44-9088)

■8月再就職支援セミナー & キャリアカウンセリング

45歳以上の再就職でお悩みのかたは是非ご利用ください。自己分析や応募書類の書き方、面接対策など再就職活動に必要な能力を身に付けるための再就職支援セミナーです。

また、希望されたかたにセミナー後にキャリアカウンセリングを実施します。

とき 8月17日(月)・31日(月) ところ ハローワーク十和田 定員 15人(要予約)

☎☎あおもり中高年就職支援センター ☎ 0172-26-8430

■借金とこころの無料相談会

弁護士、保健師などがチームとなって借金の相談だけでなく、それに伴う悩みの解決や生活再建に向けた様々な相談に応じます。どなたでもご相談ください。

とき 8月30日(日) 午後1時～3時

ところ 市保健センター

主催 青森りんごの会(青森多重債務被害者等をなくす会)

☎青森りんごの会事務局 ☎ 080-6057-3792

☎健康増進課 ☎⑤ 6791



— 第39回 —

長い時を受け継ぐ

板ノ沢のカヤ人形づくり

さわめ ゆたか
沢目 豊さん

MEMO

深持地区の板ノ沢集落で今に伝わるカヤ人形作りは、昨年11月、風俗慣習の分野として初めて市の無形文化財に指定されました。高さ3メートルに及ぶ男女一対のカヤ人形と、足元に並べ置く小さな人形を住民が共同で作成し、地区の御瀧大龍神社に奉納します。

江戸時代以前に始まったとも言われ、人形の大きさから県内外でも特異とされるこの風習を残すのは、2年前に同地区の梅集落が休止して、板ノ沢集落だけとなりました。

およそ300年前の古絵図にも名が刻まれる板ノ沢。その頃から伝わるというカヤ人形作りの先導を、現在、町内会長として受け継いでいるのが沢目豊さんです。

勤め人や子どもたちも参加できるようにと、近年の恒例となった『海の日』に行う作業を呼びかける文書にも、「市の文化財に指定されたのだから、一家一人と言わず家族も足を運んで」としたためました。

大きなカヤ人形。集落の64戸から一人ずつと子ども会、合わせて約100人の地域のかたがたが集まって作ります。集落にかかる道の上と下の地域で、それぞれ女と男のカヤ人形を担当するのが習わしと言い、主に高齢者や子どもたちは、稲わらで作る男女一対の小さな人形を担当します。それぞれ作り方は異なりますが「どの人形作りも50代の継承者がたくさん育っている」と沢目さんは話します。

少子高齢化は承知の上。若い人の参加を促し、若い人に覚えてもらうことを、地道に取り組む様子がかうかえます。

「自分が町内会長のときに人形が文化財に指定された」と、重責と注目の高さに戸惑いますが、「地域に伝わる人形作りも、その人形に手を合わせる住民の姿も、私たちににとっては当たり前ものだから、無



7月20日 今年もカヤ人形を奉納しました

くすことはできない」と話し、「町内会の総会で文化財指定をみんなに伝えた時は何ともないようにしていたけれど、指定書を見て喜んでいたら」と、地域の皆さんの静かな自負を感じたようです。

「人形制作のときはめつたに雨に当たらない」と言う沢目さん。「完成したら神社に奉納し、人形は一年間立ち続けます。昨年のは、女、男、小さな人形の順に重ねて火を放ち、焼却します」

使命ある限り、精一杯勤めるだけ。代替わりして立ち続ける『板ノ沢のカヤ人形』が大切なことを教えてくれるようです。

2015 SUMMER EVENT 夏のイベント情報

第8回 とわだ夏おどり

とき 8月11日(火) 午後5時～9時
 会場 中央公園緑地
 第6回ゆかたの似合う女性コンテスト開催
 問とわだ夏おどり実行委員会事務局 ☎252204



十和田市夏まつり 第58回 花火大会

とき 8月14日(金)午後7時～ (荒天の場合は8月15日(土)に延期)
 会場 市陸上競技場
 ※会場周辺道路は、午後5時30分から9時まで交通規制を行います。
 ※市民図書館は午後5時に閉館します。
 問 (一社) 十和田市観光協会 ☎243006

稲生川灯ろう流し

家内安全・商売繁盛などの願いを託して灯ろうを流します。
 とき 8月16日(日)午後7時～
 会場 稲生川第一西裏橋
 灯ろう販売 ▶船型灯ろう※要予約 (小) 1,300円
 (大) 1,800円▶紙灯ろう 700円
 問太素顕彰会事務局 (十和田商工会議所内) ☎241111



※自作の灯ろうも大歓迎です。

秋まつり参加者募集 秋まつり期間 9月11日(金)～13日(日)

参加希望のかたは各町内会へお申し込みください。 問 (一社) 十和田市観光協会 ☎24 3006



秋まつり参加町内会一覧 (50音順)

- ▶あけぼの祭典委員会 ▶相坂上祭会 ▶上金崎町内会 ▶切田創遊会 ▶公園街地区町内会連合会
- ▶中央町内会 ▶寺向町内会祭典委員会 ▶東部金崎 ▶並木祭典会連合会 ▶西茜会 ▶西小稲祭典委員会
- ▶西十一番町町内会 ▶東小稲祭典委員会 ▶藤坂祭典会 ▶まつり徒三本木 ▶南小稲町内会祭典委員会
- ▶南町内会祭典委員会 ▶元町ちとせ町内会祭典委員会 ▶若葉地区四町内会祭典委員会

人口と世帯 平成27年6月末現在 ※ () 内は前月比

■人口/63,592人 (-10人) 男/30,443人 (-1人) 女/33,149人 (-9人)
 ■世帯数/27,257世帯 (+25世帯)



～今日も無事でいてほしい～
 みんなでつろう 安全・安心なまち
 セーフコミュニティ十和田

